

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 実用新案出願公開

## ⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭55—101142

⑪ Int. Cl.<sup>3</sup>  
A 61 M 11/00

識別記号

庁内整理番号  
6807—4C

⑬ 公開 昭和55年(1980)7月14日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

## ⑭ 吸入マスクの構造

⑯ 実 願 昭54—931

⑰ 出 願 昭54(1979)1月8日

⑱ 考 案 者 中井英治

京都市右京区山の内宮脇町15番  
地—1 京都装飾ビル2階株式会  
社立石オートメ機器中井研究所  
内

⑲ 考 案 者 甲斐 勉

京都市右京区山の内宮脇町15番

地—1 京都装飾ビル2階株式会  
社立石オートメ機器中井研究所  
内

⑲ 考 案 者 山本洋人

京都市右京区山の内宮脇町15番  
地—1 京都装飾ビル2階株式会  
社立石オートメ機器中井研究所  
内

⑲ 出 願 人 立石電機株式会社

京都市右京区花園土堂町10番地

⑲ 代 理 人 弁理士 深見久郎

## ⑳ 実用新案登録請求の範囲

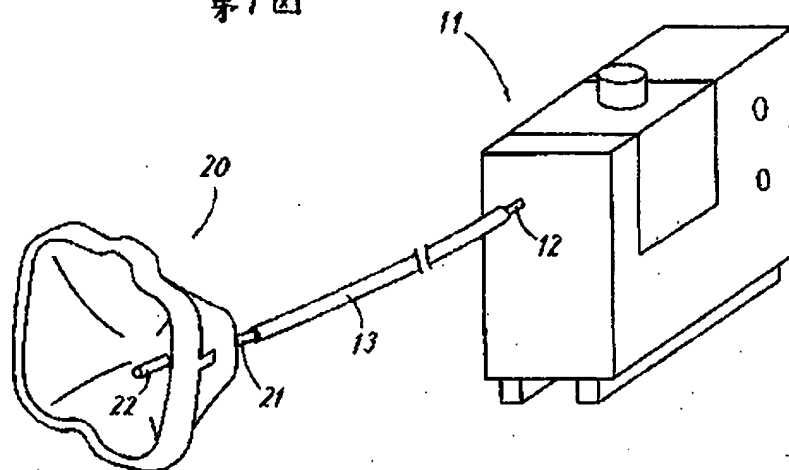
(1) 霧化された液体を吸入するために用いられる  
吸入マスクの構造であつて、前記吸入マスクの中央部の霧化吹出口周辺に通  
気孔を設けたことを特徴とする吸入マスクの構造。(2) 前記吸入マスクの中央部の吹出口には、吸入  
マスクの内側へノズルを形成していることを特  
徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載の  
吸入マスクの構造。(3) 前記吸入マスクの吹出口の外側には、前記通  
気孔を閉塞するためのベローズを該通気孔に対向して接合したことを特徴とする実用新案登録  
請求の範囲第1項または第2項記載の吸入マス  
クの構造。

## 図面の簡単な説明

第1図はこの考案の一実施例のマスクと吸入器  
の外観図を示す。第2図はこの考案の特徴となる  
吸入マスクの構造の展開図を示す。図において、11は吸入器、12は霧化液案内  
管、20は吸入マスク、21は接続部、22は霧  
化液吹出用ノズル、23は通気孔、24は接続部、  
25はベルト取付片、27はベローズを示す。

実開 昭55-101142(2)

第1図



第2図

